別添様式

計画素案市町村意見等対応表

資料2－2

	委員名	資料	ページ等	意見等	対応	対応方針	総務	総企	防災	健福	環境	商工	農林	県土	水道	企業	病院	教育	県警
1	旭市	計画素案		数字やアルファベットの全角・半角が統一されていない	【防災危機管理部】	【防災危機管理部】 ご指摘のとおり修正します。			政策班										
2	旭市	計画素案	P1	「つくり上げる」→「作り上げる」 理由）ほかの箇所と表記を統一する	【防災危機管理部】	【防災危機管理部】 ご指摘のとおり修正します。			政策班										
3	旭市	計画素案	P3	「（2）社会・経済特性」全体の記載をより詳細に記載する 理由）グラフとのバランスを考えより詳細に表記した方がよいのでは	【防災危機管理部】	【防災危機管理部】 ご指摘について検討します。			政策班										
4	旭市	計画素案	P3	「【千葉県の人口の推移】」グラフの「西暦」→「和暦」 理由）本文の表記と統一する	【防災危機管理部】	【防災危機管理部】 グラフではなく本文の表記を修正します。			政策班										
5	旭市	計画素案	P8	「（別紙1）プログラム」の「(※)」を本文中の「重点的に取り組むプログラム」の直後に移動 また、「※プログラム「起きてはならない最悪の事態」を回避するための全庁横断的な施策のまとまり」を本文と第１章　総論の四角の間に移動 理由）「プログラム」が初めに本文中に出てくるため	【防災危機管理部】	【防災危機管理部】 「※」の位置のみ修正します。			政策班										
6	旭市	計画素案	P18	「（2）代替性・冗長性等の確保」→「（2）代替性・冗長性（※）等の確保」 また、「※自然災害等による障害発生時に、」→「※代替性・冗長性　自然災害等による障害発生時に、」 理由）（※）が必要	【防災危機管理部】	【防災危機管理部】 「(2)代替性・冗長性等の確保（※）」のように修正します。			政策班										
7	旭市	計画素案	P21 （海岸保全施設整備による、津波・高潮・侵食対策）	海岸減災林整備に係る記載を追加する （例） 海岸減災林の整備については、千葉東沿岸海岸保全基本計画に基づき、環境や景観への配慮を行うとともに、専門家や地域住民の意見を取り入れながら、地域の実情に応じた整備、維持管理を行う。	【農林水産部】	【農林水産部】 海岸防災林の整備については、同項目（1-3）の中で記載されているため、現行のとおりとします。							○						
8	旭市	計画素案	P22 （河川管理施設の維持管理・更新）	「延命措置に努める。」→「計画的な施設の維持管理や施設の更新を進める。」 理由）延命措置に努めても維持管理や更新が必要と考える	【県土整備部】	【県土整備部】 事業用語である「延命化措置」に修正します。 延命化措置とは、予防保全的な管理及び機器更新等により、施設の長寿命化に資する行為のことです。								○					
9	旭市	計画素案	P28 （受援体制の整備）	「県外からの医療救護支援を円滑に受け入れや被災地を迅速に支援するため」→「県外からの医療救護支援の円滑な受け入れや県内被災地を迅速に支援するため」 理由）文言整理	【防災危機管理部】	【防災危機管理部】 この文言は、「県外からの医療救護支援を円滑に受け入れるとともに、被災地を迅速に支援する」ことを意味しております。したがいまして、ご指摘のように整理してしまうと文言の意味が変わってしまうため、現状のとおりとさせていただきます。			政策班										
10	匝瑳市	計画素案		① 数字の全角、半角表記及びフォントについて規則性を持たせるべきと思われる。 ② 基準年の表記がされている箇所について、「H〇年」又は「H〇年度」に統一すべきと思われる。 理由） ① 可読性向上のため。 ② 現在、「H〇年」と「H〇」の2通りの表記が存在しており、誤認識防止の観点から、単位を明確に記載する必要があるため。	【防災危機管理部】	【防災危機管理部】 ご指摘のとおり修正します。			政策班										
11	八千代市	計画素案	P45,52,53	自主防災組織のカバー率59.5%（H27）⇒80%（H31） 理由） ・カバー率の推移を踏まえると，目標値がやや高すぎると思われる。 ・市民一人ひとりの災害意識は高まってきていると考えるが，自主防災組織は隣保共同の精神に基づき結成されることから，現在の地域コミュニティの弱体化などから急激に数値を上昇することはきわめて困難である。 以上のことから、現実的な数値にして頂きたい。	【防災危機管理部】	【防災危機管理部】 自主防災組織のカバー率平成３１年８０%は、千葉県地方創生総合戦略の数値目標として定められているため、この数値を実現するよう努力してまいります。			地域班										